

横浜市と株式会社ディー・エヌ・エーが SDGs未来都市・横浜の実現に向けサステナブルなまちづくりについての 連携協定を締結

～楽しさ（Fun）と脱炭素・SDGsの両立を多様な主体と連携して推進～

横浜市は、2018年に「SDGs未来都市・横浜」に選定され、SDGs達成に取り組む公民連携組織「ヨコハマSDGsデザインセンター」を中心に、事業者・市民の皆様との連携によりSDGsの取組を推進してきました。また、2018年には2050年までの脱炭素化「Zero Carbon Yokohama」を宣言し、脱炭素化に向けた取組にも注力してまいりました。

このたび、こうした取組をさらに加速するべく、株式会社ディー・エヌ・エー（以下「DeNA」という。）と、SDGs未来都市・横浜の実現に向けたサステナブルなまちづくりについての連携協定を締結することとしましたので、お知らせします。

1 経緯

SDGs達成・脱炭素社会の実現に向けて、取組の一層の加速化とともに、脱炭素型ビジネスモデル・ライフスタイルへの転換が必要です。一方で、どこから取り組めば良いか分からないと感じている市民・事業者が多く、**取組のきっかけが必要**です。

今回、エンタメ、デジタル技術、そして賑わい施設を持つDeNAと、SDGsに取り組む市内事業者とのネットワークやノウハウを持つヨコハマSDGsデザインセンターが連携し、市民・事業者がSDGs達成に向けて参画しやすい機会の創出・拡大を図るなど、**SDGs未来都市・横浜の実現に向けたサステナブルなまちづくり**を共に推進するため、連携協定※を締結します。

※横浜市とDeNAは、2017年に包括連携協定「I ☆（LOVE）YOKOHAMA協定」を締結し、連携してスポーツ振興と地域活性化に取り組んでいます。

2 協定内容

- 脱炭素・SDGs達成に向けた取組を市民・来街者が楽しみながらできる仕組みづくり
- ヨコハマSDGsデザインセンターのネットワークを活用した、事業者（企業・団体）の参画推進

3 具体的な取組



<行動のきっかけづくり>

多様な主体と連携し、楽しさ（Fun）とSDGs・脱炭素を両立した体験を提供します。



「**ザ・カハラ・ホテル&リゾート 横浜**」（リゾートトラスト株式会社運営）に日本初（DeNA 調べ）の**バレーパーキング方式**（※係員が利用者の代わりに入出庫するサービス）の**EV カーシェアステーション**を設置（4月下旬～5月上旬開始予定）し、同ホテルとDeNA が共同で様々な体験を企画していくことで、来街者や市民が**横浜のドライブを楽しみながら脱炭素にも寄与**するきっかけを提供します。

*カーシェアリングサービスは株式会社 DeNA SOMPO Mobility が提供する Anyca を利用



今後は「**横浜スタジアム**」をはじめとする賑わい施設で市内企業・団体等と連携し、市民・来街者へのSDGs体験機会を創出するなど、SDGs・脱炭素に寄与する更なるFun体験の充実を予定しています。

【参考】株式会社ディー・エヌ・エー 概要

会社名	株式会社ディー・エヌ・エー
設立	1999年3月4日
資本金	103億97百万円(2021年3月末時点)
代表者	代表取締役会長 南場 智子 代表取締役社長兼 CEO 岡村 信悟
事業内容	ゲーム、エンターテインメント、スポーツ、ライブストリーミング、ヘルスケア、オートモーティブ、Eコマース、その他
所在地	渋谷オフィス（本社） 東京都渋谷区渋谷 2-24-12 渋谷スクランブルスクエア 横浜オフィス 神奈川県横浜市中区尾上町 1-8 関内新井ビルディング 6F
ミッション	一人ひとりに 想像を超える Delight を

お問合せ先

温暖化対策統括本部 SDGs 未来都市推進課担当課長 田邊 俊一 Tel 045-671-2477

※本件は、株式会社ディー・エヌ・エーと同時発表しています。